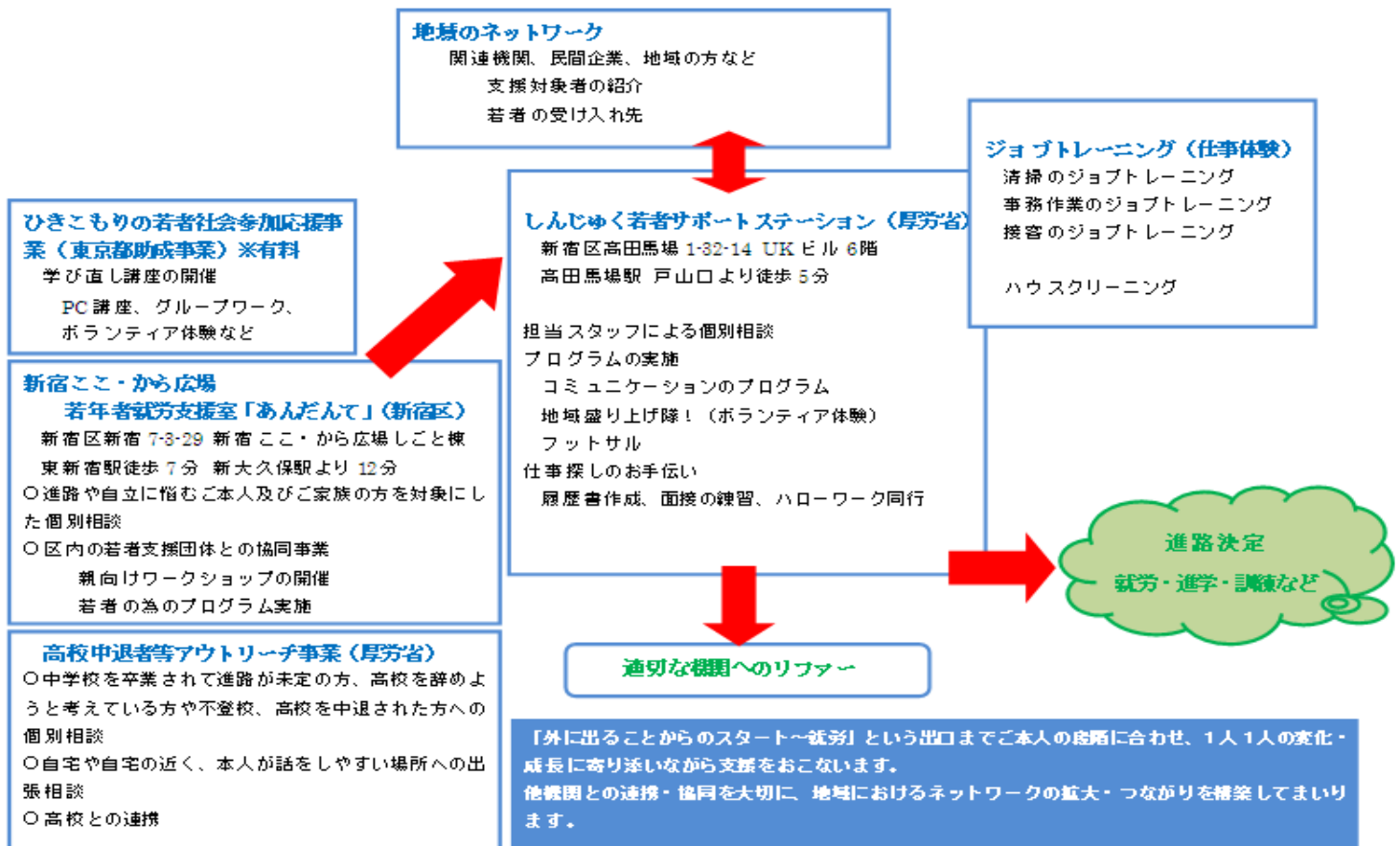


「新宿区で若者支援をおこなって見えてきた課題」

新宿区次世代育成協議会部会資料
 NPO法人ワーカーズコープ
 しんじゅく若者サポートステーション
 所長 山崎 英子

1、平成23年度事業内容



○しんじゅく若者サポートステーション (厚生労働省) 2008年～
 相談業務と各種プログラムをおこない若者の就労への支援をおこなうことを目的に全国に110か所設置されている。

○高校中退者等アウトリーチ事業 (厚生労働省) 2010年～
 高校を中退した若者がニート状態になる確率が高いことから未然にニートになることを予防する目的で始まった事業
 都内の定時制高校の校長会では「サポステとの連携」が研修会のテーマになっている。

○東京都若者社会参加応援事業（東京都助成事業） 2010年～

○清掃部門

新宿区内の地域交流館

ジョブトレーニングからハウスクリーニング
新たな中間的就労の場所を作る試み

2、3年間の活動から

(1) しんじゅく若者サポートステーション

【厚生労働省の地域若者サポートステーション事業】

就労支援施設としての位置付け

登録してから半年以内の進路決定

何人来て、何人進路決定したか（仕事についたか）という評価軸のみでの評価

個別相談までの予算しか出ていない

【実際に訪れる利用者】

- ・中学校くらいからの学校不適合
- ・親子関係、家庭環境の問題・課題（10年以上蓄積されたもの）
→成長の過程で主体性を奪われている
- ・学校卒業時に正社員での仕事につくことができずに非正規社員（アルバイト・派遣社員）での仕事を短期間で繰り返している
- ・うつ病などのメンタルを抱えている、発達障害などがある
- ・義務教育終了後、高校卒業後に社会とのかかわりが断絶されてしまっている
- ・家族も孤立状態

【就労支援以前の支援の必要性】

継続的な個別面談

様々なプログラムの実施

- ・人と関わることのやり直し
- ・いきなり社会に放り出されてしまった状態なので、仕事をするのが高いハードル

【ジョブトレーニング】 ※別紙参照

地域交流館での清掃のジョブトレーニング

↓

仕事の体験ができる場所

様々な人間関係を結べる場所

通ってくる場所

(2) 学びなおし講座

東京都若者社会参加応援事業の助成金を使って実施（2010年～）

◎学校段階でつまづいたひきこもりの若者に必要なこと

「学校から社会へ」という失われたタイミングを取り戻すためにできること

↓

学び直し講座のコンセプト「青春のやり直し」

PC講座

演劇のワークショップ
昼食作り、ボランティア体験

◎1期生（6月27日～8月25日）

卒業式での受講生の感想

- ・人と接することが楽しくなった
- ・自分の意見を言ってもいいんだということがわかった
- ・通い切れたことがとてもうれしい

2か月間同じメンバーと週2回1日過ごし、決められた時間に通うことや、同じメンバーと時間を共有することで、「自分が意見を言って拒否されること」も「受け入れられること」も体験する中で、人間関係に必要なものを吸収しているように見えた。

(3) 高校中退者等アウトリーチ事業

サポステ利用者は20代後半になって訪れることがほとんどですが、自立に困難になってしまふ原因のほとんどは中学校くらいから出始めている。

教育の分野に入っていくことの必要性和難しさ

サポステの担当課は地域文化部消費者支援等担当課

○教育委員会つくし教室（適応教室）

【ケース】

小学校から不登校、中学校もほとんど行かずに卒業

中学校卒業後はどこにもつながっておらずひきこもり状態。唯一週1回つくし教室に通って社会とつながっている。つくし教室は義務教育過程までしか通えないが例外的に認めている。

↓

本人（保護者）の希望はあくまでも進学だが、すぐには学校に戻れない。
学校に戻るまでに人と関われる場所、居場所を求めている。

○高校との連携

高校定時制

これからどう連携していけるかの相談を開始

生徒の7割が生活保護、母子家庭

非常におとなしく、コミュニケーションが苦手な生徒が多い

3、新宿区ここ・から広場若年者就労支援室「あんだんて」

新宿区、公益財団法人勤労者・仕事支援センター、区内で活動する民間NPO団体で協同で運営する支援室

開所してからの実績（2011年4月15日～）

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月
新規登録者数(保護者)	0	7(2)	9(3)	8(2)	3(1)
窓口相談件数(合計)	0	11	15	30	30
窓口相談件数(本人)	0	3	9	15	23
窓口相談件数(保護者)	0	4	6	12	7
窓口相談件数(その他)	0	3	0	3	0
来所のべ人数	18	41	73	102	71

○定期実施

	4月	5月	6月	7月	8月
心理カウンセリング		6	8	5	8
親向けワークショップ	17	11	21	32	15
ホームページによる情報提供					

○助成事業

	4月	5月	6月	7月	8月
発達障害者の理解と対応についてのセミナー			20	15	12
訪問カウンセリング					
若者の語れる場		7	8	11	
保護者向け講演会			12		

○その他事務局として実施したもの

	4月	5月	6月	7月	8月
コミュニケーションを楽しもう				9	
フリースペース					6

開所して半年たったところでの課題

- ・事業周知(広報活動)
- ・当事者発見